



## 平成30年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月1日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東  
 コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 秀明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営推進本部長 (氏名) 笹島 朋有 TEL 042-441-0711  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年11月期第3四半期の連結業績（平成29年12月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第3四半期	125,903	6.0	3,693	△1.2	3,802	0.5	2,046	△1.4
29年11月期第3四半期	118,810	3.9	3,739	7.7	3,782	4.0	2,076	17.8

(注) 包括利益 30年11月期第3四半期 2,425百万円 (△7.3%) 29年11月期第3四半期 2,617百万円 (26.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第3四半期	164.69	—
29年11月期第3四半期	167.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第3四半期	80,068	38,508	44.3
29年11月期	76,993	36,633	44.0

(参考) 自己資本 30年11月期第3四半期 35,491百万円 29年11月期 33,898百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年11月期	—	22.00	—	—	—
30年11月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年11月期の連結業績予想（平成29年12月1日～平成30年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	3.3	5,000	2.2	5,050	1.1	2,730	0.1	219.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年11月期3Q	12,677,900株	29年11月期	12,677,900株
② 期末自己株式数	30年11月期3Q	249,476株	29年11月期	249,407株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年11月期3Q	12,428,432株	29年11月期3Q	12,428,599株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復傾向が続いているものの、個人消費の停滞感などもあり、依然として先行き不透明な状況のまま推移しました。

食品物流業界におきましては、燃料調達価格が高止まりで推移しているなか、人手・車両不足、法改正への対応、食の安全・安心に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「グループ総合力を結集し食品物流をけん引します」をテーマに掲げ、「事業基盤の更なる強化」「物流品質と技術力の向上」「成長に向けた新たな展開」の3つを基本方針とした中期経営計画(2016年度から2018年度)を推進しております。

中期経営計画の最終年度となる2018年度は、事業基盤を確立させグループの成長と収益向上をめざす年として、収益力の強化、ネットワーク再編、運送機能の再構築、物流品質向上と人材育成などに取組んでおります。

営業収益は、既存取引が減少したものの、食品メーカーなどを得意先とする共同物流やコンビニエンスストアなどの流通業を主な得意先とする専用物流の新規・領域拡大が伸長し増収となりました。

営業利益は、営業収益増加による利益増や、運送業務の合理化改善や保管の効率化などが進捗したものの、運送コストや燃料調達コストなどが増加し減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は1,259億3百万円と前年同期に比べ70億93百万円(6.0%増)の増収、営業利益は36億93百万円と前年同期に比べ45百万円(1.2%減)の減益、経常利益は38億2百万円と前年同期に比べ19百万円(0.5%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億46百万円と前年同期に比べ29百万円(1.4%減)の減益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (共同物流事業)

共同物流事業収益は、既存取引が減少したものの、連結子会社の増加や新規・領域拡大が伸長し増収となりました。利益面は、新規・領域拡大にともなう利益増に加え、運送業務の合理化や保管の効率化などが進捗したものの、既存取引減少による利益減や運送コスト、燃料調達単価などの上昇影響を受け減益となりました。

この結果、共同物流事業収益は828億52百万円と前年同期に比べ58億42百万円(7.6%増)の増収、営業利益は20億41百万円と前年同期に比べ30百万円(1.5%減)の減益となりました。

#### (専用物流事業)

専用物流事業収益は、コンビニエンスストアやチェーンストアなどの領域拡大が伸長し増収となりました。利益面は、営業収益増加による利益増はあったものの、配送ルート増加による効率低下の影響や人員の補充にともなう労務費の増加などにより減益となりました。

この結果、専用物流事業収益は388億55百万円と前年同期に比べ12億77百万円(3.4%増)の増収、営業利益は12億32百万円と前年同期に比べ1億5百万円(7.9%減)の減益となりました。

#### (関連事業)

関連事業は、車両販売台数が減少したものの、燃料販売や施設工事受注は増加しました。

この結果、関連事業収益は41億95百万円と前年同期に比べ27百万円(0.7%減)の減収、営業利益は4億2百万円と前年同期に比べ84百万円(26.6%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ30億75百万円増加し、800億68百万円となりました。資産の増加の主な要因は、現金及び預金の減少2億93百万円はありましたが、有形固定資産の増加22億93百万円、受取手形及び営業未収入金の増加13億96百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億99百万円増加し、415億60百万円となりました。負債の増加の主な要因は、未払費用等の減少による流動負債その他の減少8億89百万円はありましたが、長期借入金の増加14億1百万円、支払手形及び営業未払金の増加4億47百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ18億75百万円増加し、385億8百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加15億53百万円、非支配株主持分の増加2億82百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済情勢につきましては、景気は緩やかな回復基調にあるものの、消費行動の変化や国際金融情勢の不透明感などにより、依然として厳しい状況で推移するものと思われまます。

食品物流業界におきましては、燃料調達単価、人手および車両不足による物流コスト上昇など厳しい経営環境が続くものと見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、得意先への改善提案を継続し、収益力の強化、運送・保管コストの合理化、適正料金の収受などの施策を推進してまいります。

現時点においては、平成30年7月4日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,662	4,369
受取手形及び営業未収入金	18,406	19,802
商品	147	119
貯蔵品	65	111
その他	1,845	1,906
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	25,126	26,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,066	11,152
機械装置及び運搬具(純額)	8,821	9,838
工具、器具及び備品(純額)	1,043	988
土地	19,063	19,296
リース資産(純額)	2,229	2,663
建設仮勘定	663	1,241
有形固定資産合計	42,888	45,181
無形固定資産	853	1,035
投資その他の資産		
投資有価証券	3,354	2,402
敷金及び保証金	3,665	3,791
その他	1,158	1,405
貸倒引当金	△52	△55
投資その他の資産合計	8,126	7,543
固定資産合計	51,867	53,761
資産合計	76,993	80,068

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	13,918	14,365
短期借入金	3,452	3,811
未払法人税等	770	568
賞与引当金	943	915
役員賞与引当金	61	56
その他	7,248	6,358
流動負債合計	26,395	26,076
固定負債		
長期借入金	9,807	11,209
退職給付に係る負債	667	452
資産除去債務	898	901
その他	2,591	2,920
固定負債合計	13,965	15,483
負債合計	40,360	41,560
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	25,661	27,215
自己株式	△360	△361
株主資本合計	33,573	35,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	883	772
繰延ヘッジ損益	△13	△10
為替換算調整勘定	104	98
退職給付に係る調整累計額	△649	△495
その他の包括利益累計額合計	325	365
非支配株主持分	2,734	3,016
純資産合計	36,633	38,508
負債純資産合計	76,993	80,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
営業収益	118,810	125,903
営業原価	111,685	118,736
営業総利益	7,125	7,167
販売費及び一般管理費	3,385	3,473
営業利益	3,739	3,693
営業外収益		
受取利息	3	12
受取配当金	21	20
受取賃貸料	47	45
持分法による投資利益	5	15
補助金収入	22	4
デリバティブ評価益	—	33
その他	76	104
営業外収益合計	177	235
営業外費用		
支払利息	80	78
貸与設備諸費用	32	27
デリバティブ評価損	6	—
その他	15	22
営業外費用合計	134	127
経常利益	3,782	3,802
特別利益		
固定資産売却益	59	52
投資有価証券売却益	35	8
受取補償金	27	—
特別利益合計	122	60
特別損失		
固定資産除売却損	98	81
リース解約損	9	3
その他	4	2
特別損失合計	112	87
税金等調整前四半期純利益	3,792	3,775
法人税、住民税及び事業税	1,267	1,305
法人税等調整額	125	78
法人税等合計	1,393	1,384
四半期純利益	2,399	2,390
非支配株主に帰属する四半期純利益	322	344
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,076	2,046



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	2,399	2,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△116
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	30	△7
退職給付に係る調整額	171	155
その他の包括利益合計	217	34
四半期包括利益	2,617	2,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,280	2,086
非支配株主に係る四半期包括利益	336	338

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年12月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	77,009	37,578	4,222	118,810	—	118,810
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	6,822	670	3,126	10,619	△10,619	—
計	83,832	38,248	7,349	129,430	△10,619	118,810
セグメント利益	2,072	1,337	318	3,727	12	3,739

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年12月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	82,852	38,855	4,195	125,903	—	125,903
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	6,056	687	3,399	10,144	△10,144	—
計	88,909	39,543	7,595	136,048	△10,144	125,903
セグメント利益	2,041	1,232	402	3,676	17	3,693

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。